

キリスト教の基礎知識 「イースター」

今年も春の訪れとともに、キリスト教最大の祝日であるイースター（復活祭）がやってきます。イースターは移動祝日と呼ばれ、毎年日が変わりますが、二〇二二年のイースターは四月十七日（日）です。

イースターはイエス・キリストが十字架の上で死んで三日目によみがえったできごとを記念する日です。聖書によると、イエスが十字架につけられた日（受難日）は金曜日でしたので、それから三日目は日曜日になります。ですから、教会は毎週日曜日にイエスの復活を記念して礼拝を行いますし、年に一度の復活祭も必ず日曜日になります。それは、イエスが死の力に勝利したことを祝う喜びの時なのです。

十字架上で死に、墓に葬られたイエスは日曜日の朝早くよみがえりましたが、その後いろいろな弟子たちに現れた、と聖書に書かれています。これを「復活顕現」と言います。今回は聖書にいくつか収められている復活顕現物語の一つをご紹介します。



● エマオの途上の二人

これはルカの福音書に書かれているエピソードです。イエスが復活された日に、二人の弟子たちがエルサレムから一キロメートルほど離れたエマオという村に向かって歩いていました。二人はイエスこそイスラエル民族を解放してくださるメシア（救い主）に違いないと期待をかけていました。そのイエスが十字架にかけられて殺されてしまったことに、すっかり気落ちしていました。エマオに向かう彼らの足取りは重かったのです。

二人が道々いろいろなことを話し合いながら歩いていると、そこによみがえったイエスが近づいてきて、二人と一緒に歩き始めたのです。ところが奇妙なことに、二人にはそれがイエスである、ということが分からなかったと言います。

二人の弟子たちは、相手がイエス本人と分からないまま、イエスが殺された次第と、彼の墓が空になっていったという知らせについて語り聞かせます。これに対してイエスは、これはみな聖書が約束していたことが成就したのだ、と説明します。この話の続きを、聖書自体から読んでみましょう。

彼らは目的の村の近くに来たが、イエスはもつと先まで行きそうな様子であった。彼らが、「一緒に泊まりください。そろそろ夕刻になりますし、日もすでに傾いています」と言つて強く勧めたので、イエスは彼らとともに泊まるため、中に入られた。そして彼らと食卓に着くと、イエスはパンを取って神をほめたたえ、裂いて彼らに渡された。すると彼らの目が開かれ、イエスだと分かったが、その姿は見えなくなった。二人は話し合った。「道々お話しくださった間、私たちに聖書を説き明かしてください。私たちの心は内でも燃えていたではないか。」（ルカの福音書二四章二八―三三節）

こうしてイエスが復活したことを確信した二人の弟子は、エルサレムに戻って行きます。おそらく彼らは、それからほどなくしてエルサレムで誕生することになる最初のキリスト教会のメンバーになっていきました。彼らの心は、復活したキリストとの出会いによって燃えていたのです。よみがえったイエス・キリストは今も生きておられ、あなたと共に歩んでくださっています。あなたには、このお方が見えますか？

★天文ひとくちメモ

二〇二二年の春は、夜明け前の東の空に注目。まずは太陽系の惑星をおさらいしておきましょう。太陽に近い順で、水・金地・火・木・土・天・海。以前はこの後に冥がありました。今は準惑星に格下げされ、海で終わります。

この春、天王星を（もちろん地球も）除く六惑星が、夜明け前の東天に大集合するのです。特に、イースターの翌日一八日（月）は朝四時に早起きしてみましょう。木星、金星、火星、土星が、左下から右斜め上方向へほぼ等間隔に並んで見えます。実は木星のすぐ近くに海王星もあるのですが、肉眼では見えません。あらかじめ東の空が低空まで見える場所をロケハンしておくといいですね。

なぜ惑星が大集合するのか、それは地球から見た太陽系の軌道上で、惑星直列が起きているからです。とはいえ、天変地異は起きませんからご安心を。



<聖書を読む会>

- 開催日：原則第1、第3土曜日
変更になる月があります。
 - 時間：午後2時～4時
 - 場所：寺尾地区センター他
- ※開催日と場所は下までお問合せ下さい。
●問合せ先：045-901-9560 村田

【おすすめキリスト教書籍紹介】 「もっと早く知ればよかった」と三浦綾子に思わせた人物

昨年職場で作った三浦綾子のオーディオブックがあるのですが、なんとほぼ同じタイミングで映画の制作がされていました。「われ弱ければ〜矢嶋楫子伝」です。女性の人権がないに等しい明治初期に、女性の人権のために生涯を尽くした教育者の話です。姉妹の嫁ぎ先によって横井小楠や徳富蘆花らと強いつながりをもつ家系に産まれた楫子は、元から強い性格を持つ女性でした。女子学院の初代院長を勤めているとき、40代になってからキリストに出会い、日本キリスト教婦人矯風会を創立し、当時としては画期的なやり方と影響力で女性の人権のために尽くしました。

この映画は、現代ぷろだくしょんの山田火砂子監督が萩野吟子についての映画を作っているときに、矢嶋楫子を知り、ぜひ映画化したいという思いから生まれました。そのときに三浦綾子の「われ弱ければ」のことも知りました。この映画は90才になっても現役で監督をしている山田監督がコロナ禍で撮影地のキャンセルが相次ぎ起きる中で完成させたものです。映画館での放映は終わっていますが、ホームページで案内中の放映会を調べるとご覧になることができます。

三浦綾子自身は、「道ありき」などに書かれているとおり、長い間教師としての葛藤をしていました。矢嶋楫子を知り、「なぜこの人をもっと早くに知ろうとしなかったのだろう、私はもっとちがった教師になっていたかもしれない」と感じたことを、本のはじめに綴っています。

矢嶋楫子の生涯もそうですが、映画を見て個人的に考えさせられたのは、現在の日本が明治初期と比べて、まだまだそんなに変わっていないところもあるかも・・・ということでした。そして、もう一つ考えさせられたのは、明治初期の宣教師が日本の社会に与えた影響についてでした。彼らが勇気をもって母国を出て日本に来なかったとしたら、人権、教育、医学をはじめ、現在の日本はどれほど違う国になっていただろう・・・。

<定期集案内>

- 主日礼拝 毎週日曜日 午前10時30分
★一週間の始まりを、まことの神礼拝から。初めての方も歓迎です。新型コロナ感染防止対策に努めながら少人数での礼拝を実施しています。聖書や讃美歌集はお貸します。参加をご希望の方は事前にご連絡をお願い致します。
- 祈禱会 第2第4水曜日 午後7時30分
★新型コロナ感染拡大防止の観点から、現在は休止しています。再開の情報はホームページまたは下記のお問合せ先にご確認ください。
- みことばの分かち合い 第1日曜日 礼拝後(変更になる月があります)
★聖書をみんなで読み、学んだことや感想を分かち合い、深く味わう会です。お問い合わせは、電話045-572-0857 牧師：関野祐二までどうぞ。

聖書が
オーディオドラマに
なりました！

【配役】

- 大和田伸也 (神)
- 井上 芳雄 (イエス)
- 南沢 奈央 (マリア)
- 加藤 雅也 (モーセ)
- 鶴見 辰吾 (ダビデ)



聴くドラマ聖書

Japanese Drama Bible



日本 G & M 文化財団



聴くドラマ聖書PC版 : <https://dramabiblejapan.org>